

# 海上の森だより

特定非営利活動法人  
海上の森の会 会報  
第70号  
2025年8月発行



本会は、愛知県や地域と協働で、海上の森の自然や文化を守り育てるために活動することを目的として設立した NPO 法人です（定款より）

## 第16回通常総会を終えて

第16回通常総会を令和7年5月10日（土）に、あいち海上の森センターの大村所長を来賓に招き開催しました。会員86名中、本人出席16名、委任状（出席）46名総数62名で正会員の1/2以上の出席があり、総会を開催することができました。今年度の総会から、総会の開催案内、総会資料、委任状のデジタル版をメール配信することとしました。併せて『海上の森だより』第69号もメール配信させていただき、メール等を行っていない方には、従来と同様に印刷した書類を郵送させていただきました。

それにより、問題点も浮き彫りになってきました。①全ての人がパソコンによるメールを行っているわけではなく、スマートフォンでメール等を行っている方や、プリンターを使っていない会員等もあり、配送、配信方法の確立ができていなかったことを痛感しています。②その結果として、本人出席が減ったこと、委任状の提出が少なかった事などの弊害が出てきました。

総会の内容についてですが、令和6年度事業報告については、各グループの代表者に事業報告をお願いしました。報告内容については、総会資料を再度ご確認ください。決算報告については、事務局より報告をお願いしました。令和6年度は収益に対し、費用が上回ることなく、とりあえず赤字を出すことなく事業を行う事が出来ました。

さて、令和7年度ですが、活動方針として、『海上の森だより』第68号にも書きましたが、各グループの団結のもと「情報発信の強化、参加者を増やすための事業の再構築。会員自らが楽しく満足感が得られる活動など」を柱に、創意工夫による魅力ある活動を積極的に進めることとしました。

事業計画についても、各グループ代表者に事業計画の説明をお願いしました。各グループの計画は例年と同様の内容となっておりますが、安全対策を最優先とし、その中において創意工夫を凝らし、従前とは一味違った活動を行いたいと考えております。

事業報告、事業計画以外に、定款の変更、役員の選任を行いました。定款変更につきましては、①役員の任期の変更、会の活動の活性化を図るた

め、任期を1年から2年としました。従いまして今年度の選任された役員の任期は、令和9年の総会までとなります。

②総会、理事会開催等に関する事務のより効率化を図るため、従来は書面、ファクシミリと電子メールと規定されていましたが、書面、ファクシミリと電磁的方法に変更しました。

変更により、電子メール以外の電磁的方法により、開催通知、開催、議決を幅広く行う事ができるようになります。ただし、皆さんがどのように参加されるかを、今年度の事案を参考に、事前に調査確認する必要があります。

役員改選につきましては、10名の役員中、理事2名の交代がありました。前年まで副理事長をお願いしておりました原秀男さんに代わり和田健裕さんが就任されました。理事をお願いしておりました堀圭子さん、鈴木行薫さんに代わり伊藤宏さん山田守さんが就任されました。原さんはじめ今回退任された皆様「ありがとうございました」。

会場からは、海上の里山を愛し、皆さんで守っていこうとの意見も出されました。

無事総会を終えることができましたが、会員の直接参加が得られなかったことが大きな課題かと思えます。来年度の総会には多くの参加が得られることを望みます。最後に会の活性化を図るため、会員の皆様からのご提案、ご意見をお待ちしております。（理事長 高山 康博）

## 『海上の森だより』70号目次

第16回通常総会を終えて・ほか……………	1
トピック、新理事の言葉・こども講座・愛地球博20祭に参加……………	2～3
他団体との交流、あいち海上の森センター新顔ご紹介・地域発！ヤマとナデシコ・ほか…	3～4
海上の森の自然ノート……………	5
グループ活動報告 2025年5月～8月…	6～7
グループ活動予定 2025年9月～12月……………	8

＊10月4日（土）四季のイベント 里のお月見  
里山サテライト（かたりべの家）

＊11月23日（日）収穫感謝祭  
里山サテライト（かたりべの家）

## 海上の森トピック／他団体との交流

### トピック

#### ☆新理事の言葉

##### 山田 守

私は 55 歳のときに勤めていた会社を早期退職し、職業訓練校の造園科に 1 年通いました。庭木の剪定とかをまなぶうちに、森や山で出会う樹木のことをもっと知りたくなり、県内各地の自然観察会に参加するようになりました。そんな中で、私が海上の森を最初に訪れたのは 4、5 年前だったでしょうか。当時は右も左もわからず森の中を彷徨い歩いていたように思います。それから何回か通ううちに毎月第一日曜に“自然ウォッチング”という観察会が開催されていることを知りました。2、3 回目の参加のときだったと思いますが、自然調査グループの方からお声掛けいただき海上の森の会に入ることになりました。毎週木曜日の生物季節調査に参加することを通して海上の森の植物たちの四季折々の変化や野鳥や昆虫などの生き物たちとの出会いを楽しんでいます。

今年の 4 月から自然調査グループのリーダー、新理事への就任を仰せつかりました。まだまだ若輩者ですが、少しでも海上の森を良くしていく活動に貢献できるように尽力したいと思っています。よろしく願いいたします。

(自然調査グループリーダー)

##### 和田 健裕

和田健裕と申します。この度、総会において新たに理事を務めさせていただくこととなりました。よろしく願いいたします。子供が小学校 1 年生の春に里と森の教室に参加させていただき、そこから早いこと 5 年が経過しました。息子は 6 年生になりました。

6 度の春を迎えさせていただく中、街中では得ることのできない経験を家族でさせていただいています。自然と向き合うことの素晴らしさと難しさを肌で感じながら、皆さまと過ごす時間が本当にありがたいです。森の会のメンバーの方々や、教室に参加いただく方々には本当によくいただき、私たちの暮らしに新たな「豊かさ」をくださいました。豊かな山の草木に囲まれながら、世代を越えたお付き合いをさせていただき、田んぼや畑を育てていけること、この時間と環境を得ることができたのも、これまでこの素晴らしい環境を育み続けてくださった諸先輩方のご活躍があったからと認識しています。

皆さま方とのご縁に感謝しながら、いつも元気な先輩方と共に、かけがえのないこの環境をこれからも守り、育て続けるため一所懸命に汗を流していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻いただきますようよろしくお願いいたします。

(里づくりグループ)

##### 伊藤 宏

新規に就任しました伊藤です。私と森の会の出会いは 23 年度の「里と森の教室」への参加が初になります。家庭菜



園も妻がメインで何もしないのに興味だけで教室に参加しました。海上の森のウォーキングや教室参加から多くの方が海上の森の環境維持・保全のため尽力されているのを目にして、24 年度よりメンバーとして参加いたしました。野菜を育てる経験が浅いため一知半解状態ですが 1 回で半分理解できれば、2 回聴き返せば、ほぼ理解できるとの考えでメンバー(師匠)の方々に聞きまくっております。めんどろと思われています。多分いや絶対。聞くとは、理解することでもあります。

さて、参加してみると、外からでは分からない、メンバーの方々の高齢化、実活動メンバー数の減少、機器の老朽化など多くの課題が見えてきました。

海上の森の環境維持・保全には、継続的な活動が必要ですが師匠の方々が高齢化に伴う体力の衰えの中で努力されているのに感謝しています。しかし、師匠の方々の退会意思表示がされるたびにビクッとしているのも現実です。

課題解決には若い方々の参加がぜひ必須です。今なら、もれなく師匠の方々の経験を受け継ぐことができます。海上の森に関心がある方の参加をお待ちしております。

(里づくりグループ)

#### ☆こども講座「森であそぼ！」に参加して

2025 年 5 月 18 日、「森であそぼ」が開催されました。多数のご応募をいただき、当日は 40 名を超える参加者がありました。

2025 年最初の開催ということもあり、時期的にはやや早いかと思われましたが、それでもヒメヤマユガやマイマイガ、クワゴマダラヒトリの幼虫をはじめ、カマキリ、バッタ、カメムシの幼体、ジョウカイボン、ムカシトンボ、アサヒナカワトンボ、シロスジカミキリなど、さまざまな成虫と出あうことができました。

虫好きの子どもたちからは「うわーすごい!」「かっこいい!」などの歓声があがり、真剣な眼差しで虫網を振る姿が見られ、虫が苦手だった子どもたちも、最初は見ることすらためらっていたものの、次第に虫を捕まえてじっくりと観察するようになり、新たな興味の芽生えを感じることができました。



クモ見つけ



シロスジカミキリ

今回は、まだ成虫になりきっていない幼虫が多く、かわいらしい個体との出会いも印象的でした。次回は、より多くの種類の生き物が見られることと期待しています。

また、爬虫類ではカナヘビやニホントカゲが見られ、子どもたちの間では昆虫以上の人気を集め、



## 海上の森トピック／他団体との交流

### トピック

プラスチックケースの中には、採集された小さく愛らしいヒバカリもあり、こちらも注目の的となっていました。なかにはクモを採集する子もあり、昆虫とは違った身体の形を、興味深げに観察していました。

一方で、安全面にも十分な注意が必要です。今年は海上の森内で、マムシによる咬傷事故が発生しています。マムシは保護色で周囲に溶け込みやすく、特に水辺や草むらを歩く際は慎重な行動が求められます。加えて、近年はマダニによる感染症、特に重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発症が懸念されています。

これからの季節は気温の上昇により薄着になりがちですが、ダニによる被害を防ぐためにも、長袖・長ズボンの着用を推奨し、衣服への付着が確認された場合は粘着テープ等による除去を徹底したいと考えています。

この活動が、子どもたちにとって自然とふれあう貴重な原体験となれば、これほど嬉しいことはありません。今後も参加者の皆さまへの注意喚起をしっかりと行い、安全第一で観察会を運営してまいります（採集した虫たちは、観察したあと元の場所に放しました）。

（自然調査グループ 泉本 順）

### 愛知万博20周年記念事業 愛・地球博20祭に参加

モリコロパークで行われた愛知万博20周年記念事業のイベントに参加しました。このイベントは、2025年3月25日から9月25日まで行われており、3イベント4日間に参加しました。

#### 1 「愛・地球リレーシンポジウム」

テーマ：第1回 過去（懐<sup>おも</sup>う） 第2回 現在（想<sup>おも</sup>う） 第3回 未来（念<sup>おも</sup>う）、愛・地球博の理念は何か、どのように継承されてレガシーになったのかを問うものです。

第2回のテーマ「想う：SDGs時代の愛・地球博とは？」に参加、8月11日（土）

#### ・基調講演「SDGs時代の自然の叡智と地球大交流」

講師：福井昌平氏（元愛・地球博チーフプロデューサー他）

20世紀万博でのテーマは「産業と芸術の祭典 国威発場（国の力や勢いを示す場）」であり、国と国際機関・民間企業で開催されました。21世紀の万博では「地球的課題とそのソリューション（問題解決）」をテーマとして、国と国際機関・自治体・市民・民間企業・NGOでグローバルシティズンシップ（地球全体を一つの共同体として捉え、地球規模の課題解決に積極的に貢献しようとする考え方）として行う事としています。

愛・地球博は21世紀初の万博であり、万博のテーマに沿った「自然の叡智」をテーマとし、地球大交流をコンセプトとしていた。愛・地球博で行われた各種ムーブメント（動き・運動・動向）をいかに生かしていくかが重要であると講演されました（私見も入っています）。講演を聞いて、まさしく海上の森の会の活動は、万博のテーマに沿った活動の一つであると自負しました。

・活動発表、環境省中部環境パートナーシップオフィス（EP0中部）始め9団体（海上の森の会は第1回目で活動発表をしました）。

・「ローカルな愛・地球とは」でパネルディスカッションが行われました。

#### 2 「出展イベント」

・遊びと学びの体験フィールド 4月29日（火）、5月3日

（土）、全員集合！地球まもり隊 6月15日（日）

#### ・出展内容

海上の森の紹介、体験コーナー等を行いました。体験コーナーでは、置時計づくり、壁掛け作り、トンボづくり、無料で丸太切りを行いました。

丸太を切る経験をすることがないこともあり、一番人気でした。切った円盤の匂いを嗅ぎ、誰もが「いい匂い」と持って帰られました。壁掛けは、海上の森で伐った木の輪切り、又は化粧タイルに瀬戸ノベルティの花を貼るもので、瀬戸らしさを出すことができました。物販では、昆虫観察ノート、鉛筆立て、ストラップ等を販売することができました。多くの方にイベントに参加をいただき、大忙しでした。イベントに協力いただいた会員の皆様ありがとうございました。



愛知万博20周年記念事業  
愛・地球博20祭

（高山 康博）

### ☆他団体との交流

#### せと市民活動連絡会総会に参加

令和7年5月17日（土）、パルティーせとにおいて、川本市長を来賓に迎え、令和7年度の総会が行われました。

加盟 165 団体中 95 団体の出席があり（参考：瀬戸市内には、261の市民団体がおり、うち165団体が加盟）、令和6年度事業報告、令和7年度事業計画が審議されました。

第2部の交流会と「瀬戸の民話を知ろう」で、瀬戸市の民話の朗読と、瀬戸に伝わる民話について、5班に分かれて、意見交換をしました。

瀬戸まち活動センター登録団体の市民活動支援調査アンケート調査の結果報告が行われ、「人材に関する主な課題」ではメンバーの高齢化がトップの課題となっていました。「資金に関する課題」では、資金が安定していないなど、資金に関する問題に対する回答が多かったようです。海上の森の会と同様の課題がどの団体にもあるようでした。

なお、毎年行われている「交流フェスタ 2025in パルティーせと」が10月11日（土）にパルティーせとで行われます。ご協力をお願いします。（高山 康博）

### ☆あいち海上の森センター <sup>ニューフェイス</sup>新顔ご紹介



左から  
大村 宏氏  
高橋 克巳氏  
石橋 博俊氏

## 海上の森トピック／他団体との交流

### 所長・大村 宏

令和7年度の人事異動により、あいち海上の森センター所長となりました。センター勤務は7年ぶり2度目となります。海上の森の会の皆様と共に、再び海上の森の保全と活用に取り組むことができることを、とてもうれしく思っています。

今年度は、万博20周年という節目の年であるとともに、来年4月から始まる10か年の計画「海上の森保全活用計画」を策定する年でもあります。昨年度から引き続き開催している「海上の森保全活用計画策定検討委員会」では、委員の皆様から、農地と周辺森林の管理の問題、イノシシや外来種の問題、施設の老朽化への対応等、様々なご意見を伺っております。現行計画で達成できたこと、できなかったこと、新たに発生した課題やニーズ等を分析するとともに、委員をはじめとする皆様のご意見を丁寧にお聞きし、10年後の海上の森の姿をイメージできる計画づくりを目指してまいります。

また、平成18年9月にオープンしたあいち海上の森センターは、皆様に支えられながら、来年20周年を迎えます。これを契機に海上の森の魅力をより多くの方々に伝えていけるよう準備を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

### 主査・高橋克巳

県庁林務課あいちの木活用推進室から異動してまいりました。民間からの林学職経験者枠で採用され、県職員になって4年目となります。まだまだ行政の仕事は覚えることが多いですが、民間経験を活かしながら慣れすぎないようにがんばっております。センターでは、森林の維持管理や企業・団体・学校との連携活動などを担当しています。海上の森はまだまだ知らないことが多いので、全体を見て回り状況を把握して、森林の多面的機能が十分発揮できるように整備をしていきたいと思います。そして、グリーンウッドワーク指導者や保育士の資格も持っていますので、みんなで森で遊びましょう！休日ほぼ山の中にいまして、岐阜で借りている山を整備しながら年中キャンプをしています。残念ながら海上の森ではキャンプできませんもんね・・・

### 主任・石橋博俊

2009年以来16年ぶりに再任用職員として赴任してきました。昨年度までは農業系の職場におりましたので、これまでとは異なる業務に携わることになりました。少しずつでもより良い海上の森となるよう尽力できればと思います。

## 地域発！関連団体の紹介 ヤマとナデシコ 稲生英子

あいち海上の森センター連携で、海上の森の森林整備活動を行っています。

＜グループの成り立ち＞

2016年、海上の森アカデミー「森女養成コース」1期の受講生メンバーでグループを結成しました。コース名の通りメンバー全員が女性です。6日間のコースで学習した内容を反復し、技能の上達、知識の深掘を目標に活動を開始。現在1期～9期まで、多くの所属者がいます。

＜活動内容＞

海上の森の一角を県との事業連携という形でお借りし、除伐（生育の良い木を残すため周辺環境を間引く作業）を、基本的



には毎月第2日曜日に活動しています。ただし業務ではないので真夏や真冬は休止。代わりにチェーンソー目立て研鑽会を開催したり、過去には除伐材を使用した「ミツバチの重箱式巣箱」作成講座を行ったこともあります。

私たちはアマチュアですが、作業は危険を伴うため安全には留意しています。「森女養成コース」で学んだ基本操作を厳守し、協力して進めます。作業に慎重を期す代わりに？休憩時間はかなりにぎやかで、時には手作りスイーツの持ち寄りが有ったりと、モグモグタイムは延長しがち。また昨年は発足9年目で初めて岐阜県恵那市岩村合宿を行いました。岩村の山主さんから皆伐（選別なくすべての木を伐り出す）済の山の見学と今後の活用のお話を聞きしたり、夜は飲みニケーションで懇親を深めました。

＜これから＞

活動は細々と息長く続けており、活動地は作業開始当初と比べ日の光が入る明るい森になりつつあります。引き続きキラキラした緑の森になる様頑張ります。また実は愛知万博20周年記念事業にも少しだけ参加しています。作業の様子が動画紹介され、除伐材を活用してノベルティの作成に関わる事ができました。ぜひ多くの方に見ていただき、少しでも森の整備に興味を持つきっかけになればと思います。さあ皆さんも森女の仲間になって一緒に自然を楽しみましょう！

YouTube「愛・地球博20祭オープニング  
セレモニー 記念ノベルティ 製作過程」

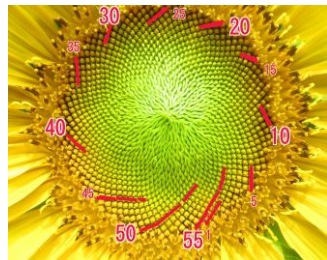
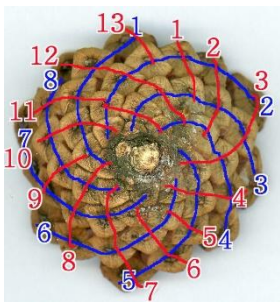




## 「自然の中の形—スパイラル」

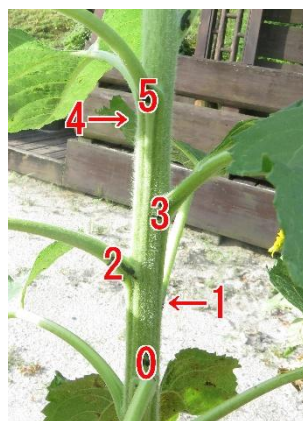
### 1. 自然界で見られるスパイラル

自然界に見られるスパイラルには不思議がいっぱいです。つる植物やマツボックリ、カタツムリのうず巻き、風呂の水が抜ける渦、台風の渦やシダ植物の新葉の展開のときにもスパイラルが見られます。昆虫が飛ぶときも空気の渦を作って飛びます。



### 2. 葉の付き方—葉序

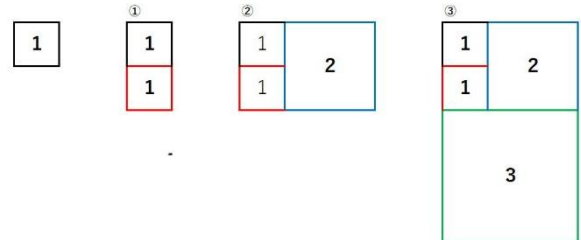
葉の付き方は対生・互生・輪生などと学んだことがあります。よく調べてみると葉の付き方にはある法則性があるのです。葉は上に回転しながら展開していきます。上に出来る葉は下の葉が陰にならないように付きます。右のヒマワリの葉は0の葉から2回転して5枚目の葉が0の葉の真上に来ます。これを2分の5の葉序と言います。2回転して5枚ですから144度回転するごとに葉が展開することになります。3分の8葉序は135度ごとに葉が展開します。



このような葉の付き方は光を効率よく受けられるのと同時に茎のバランスにも役立っています。

### 3. フィボナッチ数

1辺1の正方形に次のように正方形を加えて長方形を作ると、加えていく正方形の1辺が1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89...というフィボナッチ数があらわれます。



マツボックリに8とか13、ヒマワリに55や89というフィボナッチ数が出てきます。3や5なら偶然かもしれませんが、55や89という大きな数はもはや偶然とはいえません。植物のどんな仕組みでこんな数があらわれるのでしょうか？

### 3. 葉序の秘密

さらに驚くことに、前項で出来た長方形の長辺と短辺の比の値を連分数で表すと、す

べて1にという美しい分

数になるということだ

す。②の2分の3は小

数で表すと1.5です

が、分数の性質を使っ

て分子をすべて1に

なる分数で表すと右

のようにすべて1にな

ります。③の3分の5

も連分数にするとすべて1で表さ

れます。1+φ分の1が無限に続くと黄

金比1.618になり360度を黄金比で分け

ると黄金角137.5度になり

ます。2分の5葉序は144

度、3分の8葉序は135度

でしたから葉は黄金角に

近づいて展開していきま

す。

$$\frac{3}{2} =$$

$$1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1}}$$

$$\frac{5}{3} =$$

$$1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1}}}$$

$$1 + \frac{1}{\phi}$$

### 黄金比の連分数展開

$$\phi = 1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{1 + \dots}}}}}$$

## グループ活動報告

### 自然調査グループ

#### 生物季節調査：(毎週木曜日)

今年度4月から7月上旬までの活動報告は以下のようになります。※( )は参加人数

4月：4/3(11) , 4/10(13) , 4/17(13) , 4/24(11)

5月：5/1(8), 5/8(13) , 5/15(9) , 5/22(8) , 5/29(11)

6月：6/5(9) , 6/12(10) , 6/26(9), 6/19は猛暑で中止

7月：7/3(7) , 7/10(9)

7月・8月の猛暑対策として、35℃以上 or 熱中症警戒アラート発令で調査中止とすることを決めています。また、この時期湿地コースは調査時間を早め、コースを短縮するなどして暑さ対策をしています。新たな取り組みとして、屋戸湿地のトウカイコモウセンゴケ、モウセンゴケなどの花の数をカウントし、その推移を記録しています。問題点は森林コースの人数が減ってしまったこと。対策として、9月の第4週の調査は木曜ではなく9/23(火)の祝日に実施を予定していて、新たな人材を探す取り組みとして試してみようと考えています。

#### 自然ウォッチング(毎月第1日曜日)

4/6小雨 参加者5人、5/4晴れ 参加者24人、6/1晴れ 参加者24人、7/6猛暑のため中止 ※HPには前日の夕方に中止告知をしましたが、当日、中止と知らずに来られた方が何人かいました。事前案内に猛暑の場合は中止と明記するようにします。



5/4 衝撃の出会い！オオミズアオの羽化！！

(自然調査グループリーダー 山田 守)

#### 企業連携に参加して

6月28日、CKD株式会社の実施する「森林保全活動」のなかで、森の学び班(お子さんを対象)を担

当し、自然観察をしました。参加者数14人(2才から10才までのお子さんと親御さん)、スタッフ4人。ビンゴをしながら植物や生き物に触れて歩き、見つけた「ときめき」を分かち合いました。最後にお気に入りの葉っぱを和紙に写してうちわを作りました。



(自然調査グループ 細川小百合)

### 里づくりグループ

春から始まった「里と森の教室」には今年は27家族、52名の方がご参加くださることとなりました。予定していた定員を随分と超過しましたが、昨年不作だった玉ねぎも今年は大きさも量も素晴らしい収穫となったことをはじめ、ジャガイモやスナップエンドウも実りの多い年となり、お土産としてお持ちいただく収穫物が不足するということもありませんでした。また、サツマイモや里芋、カボチャや西瓜と今後の収穫を楽しみにして植付や日頃の草取りも、皆で力を併せながら季節の野菜づくりに励んでいます。

5月の終わりには予定通り丁寧に田植えを実施しました。初めて足を入れた田んぼの感触を楽しむ子供もいれば、泣き出してしまう子供もいたりして、毎回賑やかに活動を実施しています。7月には大きく育った西瓜を収穫し、恒例の西瓜割りを実施、その美味しさに驚きながらお腹いっぱいになるまで皆で夏の恵みを楽しみました。

今年の夏も例年になく厳しい暑さとなっています。額に汗を浮かべながら、教室参加者も会員も一所懸命に田畑に向かい合っていますが、熱中症や脱水症状にならないよう、注意しながら活動を進めていくようにしています。





## グループ活動報告

この教室での取組が、参加いただくすべての方々にとって少しでも心豊かな時間となるようこれからも会員一同がんばります。

(里づくりグループリーダー 和田 健祐)

### 森づくりグループ

猛暑とは言え山の中は、平地と比べると幾分涼しいと感じる7月5日（土）に海上の森の会森グループ森林管理講習会が開催されました。昨年に続き2回目です。講師の方も同じでした。昨年は午前座学、午後から調査実習、伐木実習でした。今年は5.66haの5ゾーンにて実践からの講習です。「誰か木を伐ってみて」と言われ、やりましたが、安全点検や周囲の確認が、足りなかったと思います。せっかく7年前に森づくりメンバー6人で豊田まで行って労働安全衛生特別教育を受け、チェーンソーを使えるようになったのに残念です。今年も特別教育を受けたメンバーが多数います。



ぜひ生かせるようになってもらいたいです。

今回の講習会で学んだことは、参加人数に合わせたグループ作り（1グループ4名以上）の必要性、グループの中での役割分担（時には分担の交代）、経験を積むための伐倒木の選択が必要だと思いました。

道具もロープや滑車、ストリングの指摘もしていただいたので、次回からの用品購入の参考になると思います。

講習会の中で何度も「皆さんの安全は自分で守る、自分の安全は自分で守る」と言っていました。安全第一、森の保全も自分たちで守りましょう。

(森づくりグループ 森 幸代)

### 木工芸教室

#### “4人組 個性豊かな自信作がそろいました。”

写真左から 丁寧な薄造りの仕上がりで軽快感のある長形皿は田中さん。西本さんは木の質感を最大限に生かした包容力豊かな楕円皿、森山さんは格調高い伝統的な凜とした重厚感のある形状の角皿を完成。右手

の厚手造りだが局面と曲線の調和が心地よい変形皿は森川さんの作品です。御馳走を盛り付け楽しいディナータイムを演出できるかな！

(森づくりグループ 布目 勝)

### 里山文化グループ

#### 端午の節供

今年は、「サンキライ」（和名はサルトリイバラ）の葉を使った柏餅と、草餅をつくりました。何か子どもの遊びをと思っていましたが、お餅づくりを楽しんでくれました。お手伝いさんも多く助かりました。

#### サテライト維持管理

カギ当番、室内の清掃はメンバーで進めております。今年はツバメの巣が室内にもう1か所増えて3ヶ所になり、鍵開け当番は気を使いました。電線に15-16羽のツバメの学校が出来、今年は楽しみな鍵開け当番になりました。

(里山文化グループリーダー 出口 なほ子)

### 情報広報グループ

3月から、広報の体制を少しパワーアップしました！各グループから情報員さんをお願いし、それぞれの活動やイベントの情報をホームページにどんどん掲載できるようになりました。これまでよりも早く、いきいきとした発信ができるようになってきています。また、若い世代にも届くようにと、Instagramでの情報発信もスタートしました。写真や短いコメントで、気軽に活動の雰囲気を伝えています。さらに、会報も最新号だけでなくバックナンバーまで、ホームページのトップページからすぐ見られるようになりました。これからは、各グループの紹介ページももっと楽しいものにしていきたいと思っています。情報員をやってみたい方、ホームページを触ってみたい方、大歓迎です！

(情報広報グループ 今村 朋範)



# 海上の森の会 活動予定 2025年9月～12月

月	活 動	活 動 日	時 間	集 合 場 所	担 当
9	生物季節調査	4、11、18 の各木曜日と 23(火)	9:30～14:00	入口 P、センター P	自然調査
	★自然ウォッチング 申込不要	7(日)	9:30～14:00	入口駐車場	自然調査
	★こども講座「森であそぼ！」	21(日)	9:20～12:00	センター P	自然調査
	耕地管理(草刈り、稲架作り)	7(日)、21(日)、27(土)	8:30～12:00	里の作業小屋	里づくり
	※里と森の教室(人参と大根の種まき) (稲刈り)	14(日) 28(日)	8:30～12:00 8:30～14:30	里山サテライト	里づくり
	森林づくり(森林管理作業)	6(土)、9(火)、20(土)、23(火)	9:00～15:00	製材小屋前	森づくり
	★木工芸教室(作品製作)ノコギリ、彫刻刀(ノミ)	3(水)、17(水)	9:00～12:00	工 作 室	森づくり
	推進会議	27(土)	13:0～15:00	協働推進室	理事長
10	生物季節調査	2、9、16、23、30 各木曜日	9:30～14:00	入口 P、センター P	自然調査
	★自然ウォッチング 申込不要	5(日)	9:30～14:00	入口駐車場	自然調査
	耕地管理(脱穀、草刈り、人参と大根の間引き)	5(日)、19(日)、25(土)、26(日)	9:00～12:00	里の作業小屋	里づくり
	※里と森の教室(稲の脱穀、カボチャの収穫)	12(日)	8:30～12:00	里山サテライト	里づくり
	森林づくり(森林管理作業)	4(土)、7(火)、18(土)、21(火)	9:00～15:00	製材小屋前	森づくり
	★木工芸教室(作品製作)ノコギリ、彫刻刀(ノミ)	1(水)、15(水)	9:00～12:00	工 作 室	森づくり
	★四季のイベント・里のお月見	4(土)	17:00～20:00	里山サテライト	里山文化
	推進会議	25(土)	13:00～15:00	協働推進室	理事長
11	生物季節調査	6、13、20、27 各木曜の日	9:30～14:00	入口 P、センター P	自然調査
	★自然ウォッチング 申込不要	2(日)	9:30～14:00	入口駐車場	自然調査
	耕地管理(玉葱の畝立て、干し柿作り、教室準備)	2(日)、16(日)、22(土)	8:30～12:00	里の作業小屋	里づくり
	※里と森の教室(燻炭作り・里芋掘り)	9(日)、30(日)	8:30～12:00	里山サテライト	里づくり
	収穫感謝祭	23(日)	9:30～14:30		
	森林づくり(森林管理作業)	1(土)、4(火)、15(土)、18(火)	9:00～15:00	製材小屋前	森づくり
	★木工芸教室(作品製作)ノコギリ、彫刻刀(ノミ)	5(水)、19(水)	9:00～12:00	工 作 室	森づくり
	推進会議	22(土)	13:00～15:00	協働推進室	理事長
12	生物季節調査	4、11、18、25 各木曜日	9:30～14:00	入口 P、センター P	自然調査
	★自然ウォッチング 申込不要	7(日)	9:30～14:00	入口駐車場	自然調査
	耕地管理(田の耕耘、水路整備)	7(日)、20(土)	9:00～12:00	里の作業小屋	里づくり
	※里と森の教室(燻炭、水路整備、正月準備)	14(日)	9:00～14:30	里山サテライト	里づくり
	森林づくり(森林管理作業)	6(土)、9(火)、20(土)、23(火)	9:00～15:00	製材小屋前	森づくり
	★木工芸教室(作品製作)ノコギリ、彫刻刀(ノミ)	3(水)、17(水)	9:00～12:00	工 作 室	森づくり
	★四季のイベント・正月準備	21(日)	9:00～14:30	里山サテライト	里山文化
	推進会議	20(土)	13:0～15:00	協働推進室	理事長

※海上の森センター主催 一般公募行事 詳細はチラシ参照 申込先 海上の森の会

・里と森の教室は全 15 回セットの参加です(他に自主参加日を設けることがあります)。持ち物 弁当・飲料水

★会員外参加可能行事(要確認) 四季のイベントの持ち物(通常の場合)マイ食器、箸、飲み物 エプロン等

特定非営利活動法人 海上の森の会

理 事 長 高山 康博

編集担当 伊藤 良吉

連絡先: ☎489-0857

愛知県瀬戸市吉野町 304-1

あいち海上の森センター3F

Tel&Fax 0561-21-9298

E-mail morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp

年会費(4月～翌3月) 1口 1,000 円

郵便振込口座番号 00820-6-185628

ゆうちょ銀行口座(当座:〇八九店 185628)

特定非営利活動法人 海上の森の会

問い合わせ時間、火～金、9 時より 12 時まで

海上の森の会 検索 🔍

Home Page / instagram

